

痛いほど、愛に撃たれる。

# love gun

## ラブドガン

監督：渡辺謙作 / 永瀬正敏 宮崎あおい 新井浩文 岸部一徳

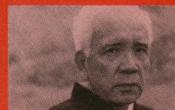
【出演】永瀬正敏、宮崎あおい / 野村宏伸 / 田辺誠一、荒戸源次郎 / 新井浩文、岸部一徳 【制作】孫家邦、石川富雄、橋本浩文 / スロウ・モーサー / 菊地孝世也 【撮影】安田圭  
【照明】上田なりゆき 【録音】柴山申広、楠澤潔 【美術】吉村柱 【編集】日下部元孝 【音楽】Dhal 【監督・脚本】渡辺謙作 【製作】スロウ・モーサー、製作委員会(リトル・モア  
衛星劇場、ポニーキャニオン、フィルムメイカーズ) 【配給】リトル・モア 2004年 / 35mm / ヴィスタサイズ / DTSステレオ 113分 【公式サイト】<http://www.lovedgun.com/>



どこへでも走っていける。わたしは、そんな勇気をあの人からもらった。

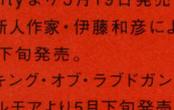
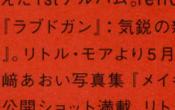
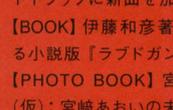
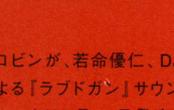
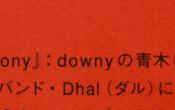
## INTRODUCTION

——銃弾は撃つ人間の感情によってその色を変える。感情がこもってなきゃ地金の色。悲しい奴が撃った弾は青。憎しみの込められた弾は黒。そして赤い銃弾——  
血縁ではない、いわば師弟の絆に結び付けられた男たちのエモーショナルなドラマ。そして彼らに触発され、悲しみの先へと新しい一歩を踏み出してゆく少女の成長譚。「ラブドガン」は「愛」についての映画である。★監督は、リトルモア MOVIESの第一作「ブービーの物語」でデビューした渡辺謙作。一風変わった少女二人の冒険物語は、その個性的な内容ゆえ黄否両論猛々しく「鈴木清順の弟子」としての面目躍如、新作が待たれていた。そしていよいよ5年の歳月を経て、本作「ラブドガン」が完成した。★過去に決着をつけようとする疑似親子関係の初老の男と青年、未来を取り戻そうとする少女、未来しか持っていないような若造。鍵を握るのは色つきの銃弾……。ファンタジックな道具立てで「生と死」「愛」といった普遍的かつ壮大なテーマをかかげる映画「ラブドガン」。映画的な迫力と緻密さに満ちた、鮮烈なエンタテインメント・ムービーの誕生である。



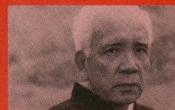
## CAST

主演は、孤高の殺し屋・葉山田役に、主演作「隠し剣 鬼の爪」(山田洋次監督)の公開も控える永瀬正敏。殺し屋との出会いで、悲しみを乗り越えてゆく少女・観幸に、「ユリイカ」「害虫」の宮崎あおい。愛するがゆえ葉山田を追いつめる丸山に、「死の棘」「座頭市」の岸部一徳。丸山と行動を共にすることにより一人前の殺し屋に成長する種田に、「青い春」「ジョゼと虎と魚たち」の新井浩文。その他、野村宏伸、田辺誠一、「赤目四十八瀧心中未遂」の監督・荒戸源次郎などが出演。



## STORY

両親の無理心中により一人残され、死んだ父の愛人に憎しみを向ける少女・観幸は、組織の組長を殺して逃げてきた男・葉山田と出会う。観幸は、幼い頃に両親を失い殺し屋になった葉山田に、自分に似た深い喪失感を感じる。もがき苦しみながらも二人はやがて、互いに触発し合うように立ち直っていく。そんな時、葉山田を狙って凄腕の殺し屋・丸山と、若いチンピラ・種田がさし向けられる。丸山は、かつて葉山田が父のように慕っていた育ての親であった。そして、対決の時。葉山田、丸山、種田、そして観幸…それぞれの決断は「赤い拳銃」だけが知っている。



## GOODS

【CD】Dhal「cacophony」: downyの青木ロビンが、若命優仁、DJ Geru-Seeと結成したバンド・Dhal (ダル)による「ラブドガン」サウンドトラックに新曲を加えた1stアルバム、felicityより5月19日発売。  
【BOOK】伊藤和彦著「ラブドガン」: 気鋭の新人作家・伊藤和彦による小説版「ラブドガン」。リトル・モアより5月下旬発売。  
【PHOTO BOOK】宮崎あおい写真集「メイキング・オブ・ラブドガン」(仮): 宮崎あおいの未公開ショット満載。リトルモアより5月下旬発売。

# ラブドガン 監督: 渡辺謙作 / 永瀬正敏 宮崎あおい 新井浩文 岸部一徳

【出演】永瀬正敏、宮崎あおい、野村宏伸、伊佐山ひろ子、土屋久美子、川合千春、飯田孝男、水上竜士、狸穴普五郎、田辺誠一、荒戸源次郎、新井浩文、岸部一徳 【監督・脚本】渡辺謙作 【撮影】安田圭 【照明】上田なりゆき 【録音】柴山申広、柿澤潔 【美術】吉村桂 【編集】日下部元孝 【音楽】Dhal 【撮影効果】多正行 【衣裳】野中美貴 【ヘアメイク】星野晶子 【装飾】島根裕子 【VFXスーパーバイザー】石井敬雄 【スクリーンター】近藤真智子 【助監督】大津是 【製作担当】望月敬雄 【ラインプロデューサー】土井智生 【プロデューサー】菊地美世志 【製作】集衆社、石川富康、尾崎浩文 【製作プロダクション】フィルムメイカーズ 【製作】「ラブドガン」製作委員会(リトル・モア、衛星劇場、ポニーキャニオン、フィルムメイカーズ) 2004年/35mm/ウィスタサイズ/DTSステレオ/111分 【配給】リトル・モア 【配給協力】トラクター・エンタテインメント 【宣伝】ミラクルヴォイス 【宣伝デザイン】フィッシュデザイン 【写真】黒瀬康之

www.lovedgun.com/

## 7月3日(土)より、「彷徨える愛」のロードショー!!

特別前売ご鑑賞券¥1,500絶対発売中!! (当日:一般¥1800の処)

★前売券は、永瀬バージョン・宮崎バージョンどちらかお選び頂きます。

★劇場窓口にて前売券をお求めの方には、オリジナル・ポストカードをプレゼント! (限定)

テアトル梅田のサービスデー 火曜日: 男性の方¥1,000 / 水曜日: 女性の方¥1,000 / 12月を除く第1水曜日: ¥1,000均一 (12月は1日)

梅田コマ劇場斜め前 梅田ロフトB1

テアトル梅田

tel.06 (6359) 1080

http://www.cinemabox.com/

11:35 1:55 4:15 6:35